

地域密着型金融推進計画の進捗状況について
(平成 21 年 4 月～平成 23 年 3 月)

平成 23 年 5 月
富士信用金庫

個別取組みの進捗状況

項目	具体的取組策	進捗状況(22年4月～23年3月)	
		21年4月～23年3月の進捗状況	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化			
(1)創業・新事業支援	<p>①融資審査態勢の強化等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産業を主体とした「業種別研究会」を開催し情報の共有化を図る。(毎年2回開催) ・ 各種「目利き」研修プログラムに参加するとともに、審査能力の向上のための金庫内外研修会を計画・実施する。 ・ 創業・新事業支援機能の一環として、「店周 680業種融資審査ガイドデータ」の有効活用を図る。 ・ 融資部審査トレーニーを実施する。 <p>②産学の更なる連携強化等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡大学と技術・研究開発や地域活性化の分野で連携強化に取り組む。 <p>③地域企業に対し外部機関等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (財)しずおか産業創造機構が設立する「スタートアップファンド」との連携強化に取り組む。 ・ 富士商工会議所「シニア創業支援センター」と情報共有化し、起業者の相談・支援に取り組む。 ・ ビジネス交流会「知恵の輪」の活動に積極的に参加する。 ・ 富士市中心市街地活性化「富士TMO構想」の活動に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資審査業務の庫内研修会を開催した。 受講者 46名(営業店長・融資役席者) 実施時期 22年9月 ・ 第9回「業種別研究会」を開催した。 業種 巻取平版裁断、梱包・リワインダー等紙加工業 実施時期 22年9月 ・ 「中小企業経営改善プログラム研修」フォローアップ研修 受講者 25名 実施時期 22年8月、9月(2回開催) ・ 富士商工会議所主催の「経営力向上支援センター」と連携を強化するため相談員1名、専門家2名を派遣して創業支援・経営革新に取り組んでいる。 ・ 創業・新事業支援融資の平成22年度実績 【上期】7先 融資額 37,200千円 【下期】9先 融資額 34,970千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回「業種別研究会」(樹脂容器製造業)を開催した。【21年7月】 ・ 第8回「業種別研究会」(廃水処理機械製造業)を開催した。【21年8月】 ・ 第9回「業種別研究会」(巻取平版裁断、梱包・リワインダー等紙加工業)を開催した。【22年9月】 ・ 融資審査業務の庫内研修会を実施した。【21年8月】【22年9月】 ・ 「中小企業経営改善プログラム研修」フォローアップ研修を開催した。【21年8月】【22年9月】 ・ 富士商工会議所主催の「経営力向上支援センター」と連携を強化するため3名の相談員(相談員1名、専門家2名)を派遣し、創業支援・経営革新に取り組んでいる。 ・ 「経営革新承認取組説明会」を開催した。(静岡県経営支援室、しずおか産業創造機構、富士商工会議所共催)【21年12月】 ・ ビジネス交流会「知恵の輪」第6回ビジネスフェアに参加した。【22年2月】 ・ 創業・新事業支援融資の実績 【平成21年度】 34先 159,980千円 【平成22年度】 16先 72,170千円 ・ 経営革新事業支援融資の平成22年度実績 【通期】 3先 110,000千円
(2)経営改善支援	<p>①中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化</p> <p>現地訪問による経営相談・アドバイス等により、大口問題先、経営支援先に対するコンサルティン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資部経営支援課を専担部署として、大口与信先23先・経営支援先32先を指定し営業店と連携して経営相談・支援を実施している。 ※平成22年度経営改善支援取組みの取引先 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資部経営支援課を専担部署として、大口与信先23先・経営支援先32先を指定し営業店と連携して経営相談・支援を実施している。【平成23年3月末時点】

個別取組みの進捗状況

項目	具体的取組策	進捗状況(22年4月～23年3月)													
		21年4月～23年3月の進捗状況													
	<p>グ機能の強化に取組む。</p> <p>②健全債権化に関する実績の公表等 経営改善支援取組み先数、ランクアップ先の具体的な事例等をディスクロージャー誌、ホームページで公表する。</p> <p>③中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みの強化 ・「富士地域OB人材活用協議会」と連携して、中小企業の財務・経営管理能力向上の支援に取組む。 ・地域経済動向について四半期毎に情報の収集を行い、取引先とともに課題をもって経営支援に取組む。</p> <p>④中小企業向け融資の貸出条件緩和の円滑的な取組み 中小企業の業況を調査・確認し、資金繰り等の実態把握と経営改善の策定指導により柔軟な対応で取組む方針とする。</p>	<p>数 55 先</p> <p>※平成 22 年度ランクアップ先数 2 先</p> <p>※経営改善計画書策定済み総先数 118 先</p> <p>・平成 21 年度の経営改善支援の取組先数、ランクアップの状況を 2010 年 3 月期ディスクロージャー誌で公表した。</p> <p>・当金庫指導により、中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新計画」に 4 社が県による承認計画を受けた。</p> <p>・中小企業金融円滑化法により貸出条件の変更を実行した件数・額</p> <table border="0"> <tr> <td>中小企業者</td> <td>1,255 件</td> <td>21,841 百万円</td> </tr> <tr> <td>住宅資金借入者</td> <td>62 件</td> <td>1,050 百万円</td> </tr> </table> <p>・「中小企業経営改善プログラム研修」フォローアップ研修を実施した。</p> <p>受講者 25 名</p> <p>実施時期 22 年 8 月、9 月(2 回開催)</p>	中小企業者	1,255 件	21,841 百万円	住宅資金借入者	62 件	1,050 百万円	<p>※経営改善支援取組みの取引先数</p> <p>平成 20 年度・・・32 先</p> <p>平成 21 年度・・・49 先</p> <p>平成 22 年度・・・55 先</p> <p>※ランクアップ先数</p> <p>平成 20 年度・・・4 先</p> <p>平成 21 年度・・・0 先</p> <p>平成 22 年度・・・2 先</p> <p>※経営改善計画書策定済み総先数 104 先</p> <p>・経営改善支援取組みの取引先数、ランクアップの状況をディスクロージャー誌で公表した。【21 年 7 月】【22 年 7 月】</p> <p>・中小企業金融円滑化法等に関する説明会を開催した。【21 年 12 月】</p> <p>・中小企業金融円滑化法により貸出条件の変更を実行した件数・額をディスクロージャー誌およびホームページにおいて公表した。</p> <p>【23 年 3 月末現在累計】</p> <table border="0"> <tr> <td>中小企業者</td> <td>1,255 件</td> <td>21,841 百万円</td> </tr> <tr> <td>住宅資金借入者</td> <td>62 件</td> <td>1,050 百万円</td> </tr> </table> <p>・「中小企業経営改善プログラム研修」フォローアップ研修を実施した。【22 年 8 月、9 月】</p> <p>・当金庫指導により、中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新計画」に県の承認計画を受けた。</p> <p>【平成 21 年度】 6 社</p> <p>【平成 22 年度】 4 社</p>	中小企業者	1,255 件	21,841 百万円	住宅資金借入者	62 件	1,050 百万円
中小企業者	1,255 件	21,841 百万円													
住宅資金借入者	62 件	1,050 百万円													
中小企業者	1,255 件	21,841 百万円													
住宅資金借入者	62 件	1,050 百万円													
(3)事業継承	<p>①M&Aのマッチング支援に取組む 後継者不在企業に対してM&Aを活用し、取引先の後継者問題を解決するとともに既存取引先の深耕化、新規取引先に取組む。</p>	<p>・当庫取引先の紙加工業者が同業他社の機械・従業員等事業承継し傘下とする。(22 年 4 月)</p> <p>・後継者不在の取引先と事業意欲のある不動産業者とのM&Aマッチング支援を実施した。(22 年 6</p>	<p>・個人住宅のハウスメーカーに対してホームセキュリティを標準仕様とするようマッチングを提案している。【21 年 9 月】</p> <p>・当庫取引先の紙加工業者が同業他社の機械・従</p>												

個別取組みの進捗状況

項目	具体的取組策	進捗状況(22年4月～23年3月)	21年4月～23年3月の進捗状況
(4)事業再生 その1 事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ①静岡県中小企業再生支援協議会との連携を更に強化し、取引先の事業再生に向けて積極的に取組む。(21～23年度中に3先提案) ②静岡県中小企業再生ファンドを活用し、取引先の事業再生に取組む。(21～23年度中に3先提案) ③取引先の再生支援実績に関して、個別具体的な情報開示の拡充に取組む。 ④人材育成と事業再生スキルの向上を目的とした金庫内の「目利き」研修会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県中小企業支援協議会と協議中の先(紙加工品製造業)は対象外となる。 ・運輸業1社が静岡県中小企業支援協議会の支援先となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県中小企業支援3号ファンド「テイクオフ」に出資した。【21年8月】 ・取引先(紙加工品製造業)の再生を静岡県中小企業支援協議会と協議してきたが対象外となった。【22年9月】 ・運輸業1社が静岡県中小企業支援協議会の支援先となる。【23年3月】
その2 再チャレンジ創業の資金調達支援	<ul style="list-style-type: none"> ①事業再生保証制度(法的整理手続に基づく事業再生を図る中小企業者を対象とする保証)の活用。 ②事業再生円滑化関連保証(私的整理手続における債権者全員の成立までの期間におけるつなぎ資金を対象とする保証)の活用。 ③再挑戦支援保証(経営状況の悪化により事業の廃止、法人の解散を経験した者で廃業後5年以内に保証の申込をした者への保証)の活用。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生 ADR 1社の事業再生計画が成立、再生計画に基づいた返済が履行されている。【21年10月】
2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
(1)事業価値を見極める融資(不動産担保・個人保証に過度に依	<ul style="list-style-type: none"> ①システム格付と債務者区分の整合性を図り、正確な信用格付と決算日から5ヶ月以内の実施により、事業価値を見極める融資に取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与信取引に関する顧客への説明態勢についての研修会を実施した。 受講者46名(営業店長・融資役席) 	<ul style="list-style-type: none"> ・与信取引に関する顧客への説明態勢についての研修会を実施した。【21年8月】【22年9月】 ・法人与信先に対して信用格付の登録を実施してい

個別取組みの進捗状況

項目	具体的取組策	進捗状況(22年4月～23年3月)	
		21年4月～23年3月の進捗状況	
存しない融資)の徹底	<p>②各種「目利き」研修プログラムに参加するとともに、審査能力向上のための金庫内外研修会を計画・実施する。</p> <p>③与信取引に関する顧客への説明態勢についての研修会を実施する。</p>	<p>実施時期 22年9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人先信用格付登録先 1,171 先に対して 1,160 先の実施。(99. 06%) 個人事業主信用格付登録先 741 先に対して 641 先の実施。(86. 50%) 	<p>る。</p> <p>【平成 21 年度】</p> <p>格付予定先 1,164 先</p> <p>実施状況 1,150 先(98.80%)</p> <p>【平成 22 年度】</p> <p>格付予定先 1,171 先</p> <p>実施状況 1,160 先(99. 06%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人事業主信用格付規定を制定した。【21 年 6 月】 <p>【平成 21 年度】</p> <p>登録先 665 先</p> <p>【平成 22 年度】</p> <p>格付予定先 741 先</p> <p>実施状況 641 先(86. 50%)</p>
(2)その他中小企業に適した資金供給手法の徹底	<p>①シンジケートローンを推進する。</p> <p>②私募債取引を推進する。 (21 年～23 年度中目標)</p> <p>シンジケートローン 3 先</p> <p>私募債 3 先</p>	<ul style="list-style-type: none"> シンジケートローン組成の取組みは、累計 4 先 9 件の組成に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> シンジケートローン組成の取組み状況推移 <p>【平成 21 年度】 7 先 11 件</p> <p>【平成 22 年度】 4 先 9 件</p>
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
(1)地域の面的再生	<p>①産学官が連携したビジネスフェアを推進する。</p> <p>②富士市商工会議所主催の「知恵の輪」、「バイオマス研究会」に参画し活動する。</p> <p>③ビジネスフェア開催の研究、検討を行う。</p> <p>④利用者の意見を取入れるためのアンケートを実施する。</p> <p>⑤地域振興助成制度の研究、検討。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第 6 回ビジネスフェアを行なう事前準備として平成 22 年 4 月 14 日より行動を開始している。 ビジネスマッチングのための規約を制定し、ガイドブック策定の説明会を 22 年 9 月に実施した。 法人、個人の会員 21,863 先に対してアンケートハガキを郵送(22 年 6 月)し、回答(回答率 2.83%)に伴う分析を行った。 22 年 11 月 5 日「ビジネスフェア 2010」がポートメッ 	<ul style="list-style-type: none"> 富士商工会議所ビジネス交流会「知恵の輪」総会が開催され、20 年度の活動状況報告及び収支決算書、21 年度事業計画が承認された。【21 年 5 月】 「ビジネスフェア 2009」がポートメッセなごやで開催された。【21 年 11 月】 ※取引先 6 社出展、42 名が視察。 富士商工会議所が主催するビジネスフェアを後援した。【22 年 2 月】【23 年 2 月】

個別取組みの進捗状況

項目	具体的取組策	進捗状況(22年4月～23年3月)	21年4月～23年3月の進捗状況
		<ul style="list-style-type: none"> セナゴやで開催された。取引先 6 社が出展、36 名が視察し、1 社が商談に至った。 23 年 2 月 1 日富士商工会議所が主催するビジネスフェアを後援した。 ビジネスマッチングのためのガイドブック「2011 ふじしんビジネスマッチング」に 386 社の掲載申込みを獲得した。【23 年 1 月】 	<ul style="list-style-type: none"> 第 6 回ビジネスフェアを行なう事前準備を開始した。【22 年 4 月】 ビジネスマッチングのための規約を制定し、ガイドブック策定の説明会を実施した。【22 年 9 月】 法人、個人の会員 21,863 先に対してアンケートハガキを郵送(22 年 6 月)し、回答(回答率 2.83%)に伴う分析を行った。【22 年 9 月】 「ビジネスフェア 2010」がポートメッセなごやで開催された。取引先 6 社が出展、36 名が視察し、1 社が商談に至った。【22 年 11 月】 ビジネスマッチングのためのガイドブック「2011 ふじしんビジネスマッチング」に 386 社の掲載申込みを獲得した。【23 年 1 月】 知恵の輪運営委員会、例会に毎月出席している。
(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供【その1】	<ul style="list-style-type: none"> ①吉原第一中学校、吉原第二中学校、大淵中学校、富士見高等学校、吉原商業高等学校等からの受入継続及び他校からの要請があれば積極的に受入。 ②NPO法人による介護福祉事業を支援する。 ③子育てを支援する。 富士市と富士市勤労者育児支援資金利子補給に関する契約者を締結し、新商品の「育児支援ローン」の取扱いを開始する。 ④既存取引先の多重債務者に対して、個別対応として案件内容を考慮して、支援に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 富士見高等学校より 2 名を受入れた。 吉原第二中学校より 2 名を受入れた。(22 年 11 月) 大淵中学校より 3 名を受入れた。(22 年 12 月) 富士市との提携による「育児支援ローン」の実績 獲得 1 件 1,000 千円 	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験生徒を受け入れている。 【21 年度】5 校 23 名 (8 月)富士見高等学校 2 名 吉原商業高等学校 6 名 (11 月)吉原第二中学校 4 名 (12 月)大淵中学校 6 名 (2 月)吉原第一中学校 5 名 【22 年度】3 校 7 名 (8 月)富士見高等学校 2 名 (11 月)吉原第二中学校 2 名 (12 月)大淵中学校 3 名 「育児支援ローン」の獲得実績 【21 年度】 2 件 1,300 千円 【22 年度上期】1 件 1,000 千円
(2)地域活性化につながる多様なサービス	①信用金庫の日の記念事業として、ふじしん講演会を開催する。	・ふじしん講演会『人と人とのふれあい・心の時代』(講師、毒蝮 三太夫 氏)を 6 月 15 日に開催した。	・経済研究会主催講演会「戦国武将に学ぶ組織活性化」(講師 静岡大学教授 大和田哲男氏)を開

個別取組みの進捗状況

項目	具体的取組策	進捗状況(22年4月～23年3月)	21年4月～23年3月の進捗状況
の提供【その2】	<ul style="list-style-type: none"> ②ふじしん経済研究会を活用した事業者向けセミナーを開催する。 ③ふじしん相談プラザでの、税務相談、法律相談、資産運用相談の充実を図る。 ④団塊世代向け資産運用セミナーを開催する。 ⑤インターンシップの受入れを図る。 ⑥店舗周辺の清掃活動を実施し生活環境保全につくす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週土曜日にふじしん相談プラザで住宅ローン、年金相談会を開催している。 ・ 毎週木曜日にふじしん相談プラザで税務相談を実施している。 ・ 市内 2ヶ所で交通安全の啓発活動を行なった。(7月 15 日)(しんきん交通安全キャンペーン「SINKIN・BANK380 万ピカッと作戦 2010」) ・ 23年 3月 11日ふじしん経済研究会研修講座を開催するも、当日の地震で中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 催した。【21年 4月】 ・ ふじしん講演会を開催した。 【21年 6月】「心とからだの健康」 (講師 由美 かおる氏) 【22年 6月】「人と人とのふれあい・心の時代」 (講師 毒蝮 三太夫氏) ・ しんきん交通安全大キャンペーン「ピカッと作戦」を実施し、交通安全の啓蒙活動を行った。【21年 7月】【22年 7月】 ・ ふじしん経済研究会研修講座(自社の販売力を強化せよ 講師:西山英男)を開催した。【21年 10月】 ・ 「こどもを見守る移動110番」活動を開始した。【21年 10月】 ・ ふじしん経済研究会「経営塾第2期」講座開講した。【22年 3月】 ・ ふじしん経済研究会研修講座を開催するも、当日の地震で中止。【23年 3月】 ・ 毎週土曜日にふじしん相談プラザで住宅ローン・年金相談を開催している。 ・ 毎週木曜日にふじしん相談プラザで税務相談を実施している。
(3)地域への適切なコミットメント、公共部門の規律付け	<ul style="list-style-type: none"> ①富士市各事業を担当する ②地方公共団体に対する資金の貸付、地方公共団体からの預託金受入れについて、適切な金利で対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 22年 7月 1日から富士市会計管理室を担当する。 ・ 富士市会計管理者より預託金の引合い依頼あり対応した。(22年 5月、6月、9月) ・ 富士市水道事業管理者より預託金の引合い依頼あり対応した。(22年 4月、7月、12月) ・ 富士市病院事業会計より預託金の引合い依頼あり対応した。(22年 12月) ・ 富士宮市より預託金の引合い依頼あり対応した。(23年 1月、2月、3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士市病院事業会計の指定金融機関を担当。【21年 7月～】 ・ 富士市会計管理室の指定金融機関を担当。【22年 7月～】 ・ 富士市から銀行等引受資金借入に係る見積依頼に対応した。【21年 4月】【22年 3月】【23年 3月】 ・ 富士市会計管理者より預託金の引合い依頼に対応した。【21年 6月、8月、10月、12月】【22年 5月、6月、9月】

個別取組みの進捗状況

項目		具体的取組策	進捗状況(22年4月～23年3月)	
			21年4月～23年3月の進捗状況	
			<ul style="list-style-type: none"> 富士市から銀行等引受資金借入に係る見積依頼に対応した。(23年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 富士宮市から銀行等引受資金借入に係る見積依頼に対応した。【22年3月】 富士市水道事業管理者からの預託金の引合い依頼に対応した。【22年4月, 7月, 12月】 富士市病院事業会計からの預託金の引合い依頼に対応した。【22年12月】 富士宮市からの預託金の引合い依頼に対応した。【23年1月, 2月, 3月】

経営改善支援への取組実績(平成22年4月～平成23年3月)

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数	うち経営改善支援 取組み先数				経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率	
		α	β	γ	δ				
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α	
正常先 ①	2,570	5		4	5	0.2%		100.0%	
要 注 意 先	うち その他要注意先 ②	403	42	2	32	42	10.4%	4.8%	100.0%
	うち 要管理先 ③	9	0	0	0	0	0.0%	--	--
破綻懸念先 ④	64	8	0	7	8	12.5%	0.0%	100.0%	
実質破綻先 ⑤	30	0	0	0	0	0.0%	--	--	
破綻先 ⑥	14	0	0	0	0	0.0%	--	--	
	小 計 (②～⑥の計)	520	50	2	39	50	9.6%	4.0%	100.0%
	合 計	3,090	55	2	43	55	1.8%	3.6%	100.0%

- (注)
- ・期初債務者数及び債務者区分は平成22年4月当初時点のものです。
 - ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
 - ・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は α に含めるものの β に含めていません。
 - ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は β に含めています。
 - ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
 - ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 - ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
- ・「再生計画を策定した先数 δ 」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

創業・新事業支援融資実績及び個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組実績

(単位:件、百万円)

		平成22年度取扱実績		平成23年3月末残高	
		件数	金額	件数	金額
創業・新事業支援融資実績		16	72	92	2,361
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組実績	動産・債権譲渡担保融資	1	60	1	60
	ご町内ローン	9	21	65	72
	無担保ローン	1	5	16	62
	ご町内クイックローン	0	0	97	(極度)341